学校番号	T0106

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	1 単位	年次	1 年次
使用教科書	新・情報の科学（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「情報とは何か」というテーマを元に、身の回りの「情報」に関心をもち適切に扱えるようになりましょう。
- コンピュータやネットワークを活用した「協働」作業を行うことができる技術を身につけ、知識基盤社会を生き抜くための力を養いましょう。
- コンピュータの仕組みや特徴を理解し、ディジタル機器を適切に扱い管理できる力をつけましょう。

2　学習の到達目標

- 身の回りの「情報」に気づくことができ、適切に扱うことができる。
- 「情報」を適切に扱うにあたり必要な知識・技術を習得する。
- コンピュータやネットワークを活用した、「情報」の収集・処理、適切なコミュニケーションが行えるようになる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、効果的にコミュニケーションを行っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価、自己評価	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価、自己評価	・学習状況の観察 ・実習作品 ・課題作品 ・発表 ・実技テストの結果	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・筆記テストの結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	コンピュータを適切に扱えるようになろう　(1)	・コンピュータの基本的な扱い方について ・タッチタイピング習得にむけての練習 ・文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアの扱い方	○	○	○		a:コンピュータを活用しようとしている。 b:メディアからの情報を客観的に評価している。 c:タッチタイピングを習得するための練習を行っている。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
	情報モラルについて	・SNS との付き合い方 ・誤解を生む表現 ・危険なアプリ ・ディジタルタトゥー		○	○	○	b:目的に応じて、適切なメディアを選択し表現することができる。 c,d:危険なアプリケーションを導入しないための方法を理解している。 d:SNS の仕組みや扱い方を知っている	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
後期	コンピュータを適切に扱えるようになろう　(2)	・タッチタイピングを習得 ・文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアを用いた、文書の作成			○	○	c:タッチタイピングを行うことができる。 c,d:文字装飾やレイアウト、関数を使用し、文書や表を作成することができる。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表
	情報モラルについて	・ディジタル万引き ・個人情報の扱い ・情報の信ぴょう性 ・不正アクセス	○	○	○	○	a,b:他人の個人情報について関心を持っている。 b:情報の真偽について考えることができる。 c:情報通信ネットワークを適切に扱うことができる。 d:メディアの種類と特徴について理解している。 d:インターネット上のさまざまなコミュニケーションの特性を理解している。	・授業観察 ・プリント ・小テスト ・発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）を示している。